

## 次期中間処理施設整備事業の用地選定に関する意見書

印西地区環境整備事業組合

次期中間処理施設整備事業

用地検討委員会 委員長 寺嶋 均 宛て

### 1. 留意事項

- (1) 提出のあったご意見は、直近の用地検討委員会の会議に提出し、参考資料として活用させていただき、また、印西地区環境整備事業組合のホームページで公開しますが、不当な圧力、個人や特定の団体に対する誹謗中傷、財産・プライバシー・著作権の侵害及び営利目的等の記述が含まれる場合は、当該提出及び公開をしません。
- (2) 匿名による意見提出が可能ですが、意見提出者（ご自身）の氏名等の公開を希望される場合は、下記意見欄の末尾に当該個人情報をご記入ください。
- (3) 意見書は、この様式によるものの他、この様式に準じた任意様式でも結構です。
- (4) 意見記入欄が不足する場合は、適宜、用紙を追加してください。

### 2. 意見

平成 26 年 6 月 9 日

#### —候補地としての現在地の問題点—

前 9 住区計画では、施設整備検討委員会で「問題になるような施設はつukらないということだから、“影響がないことが前提” —との意見がでて、排煙の影響を評価項目から外して計画を進めようとしたが、その理由の説明がなく住民から大きな反発を招きました。

当検討委員会でも排煙の影響を「生活環境の保全項目」の中で取り上げられておりませんがその根拠を科学的によく説明することが重要と考えます。さもないと現在地周辺住民から大きな反発がおきることは必至でしょう。

重要なことは、排煙の影響について問題になるような施設をつukらないとの前提に立った上で、その施設をつukる最適な場所がどこかを住民が納得するよう、いかに合理的に説明ができるかです。

例えば、住宅街の中と野原に施設をつukることとを生活環境への影響から比較すると、常識的に大方の人は野原を選ぶでしょう。他の多くの自治体でも野原のあるところはそうしています。 周囲が 100m の超高層ビルや超高層マンションに囲まれ約 34,000 人が暮らす現在地と、山野で低層住宅が散在するだけの他の 5 候補地は丁度これと同じ関係と云えるのではないのでしょうか。私は以下に述べる 2 つの理由から現在地を候補地とする事に反対です。 もし候補地とするのであればこれらの問題点について納得できる説明を求めます。

記

#### 1、現在地周辺の大気質汚染について

現在地は、H 1 2 年度に当組合が行った 3 地点調査(最大着地濃度地点、三井住友海上火

災、竹中工務店)では、4汚染物質(二酸化窒素、二酸化硫黄、煤塵、塩化水素)のバックグラウンド予測値(予測前の数値)が既に国の環境保全目標値を超過しています。(H12年度

印西地区ごみ処理基本計画P80~81参照)

この様にバックグラウンド値で環境目標値を超えている現在地で、いくら問題になるような施設はつくらないといっても、これで生活環境の保全の問題がなくなったとは云えません。

ましてや、現在地はH12年以降、国道464号線で激増する車両の排気ガス(日中12時間交通量25,000台)、人口増による家庭排出ガスなどで汚染が進み、バックグラウンド値はさらに悪化していると思われます。現在地を候補地とすることは大気汚染の一極集中をさらに加速させるもので、地元住民として受け入れがたく、候補地から現在地を除外すべきです。

印西市以外の他市町から選出された委員諸氏には自地区のこととしてこの問題と向き合ってお考えいただくよう要望します。

## 2、現在地での施設更新の問題点。

当組合はH14年7月に千葉県宛に、現在地で設備能力300T/日、煙突高さ130mの更新を

計画し、「印西クリーンセンター更新施設整備事業に係る環境影響評価方法書」を提出しました。

(その後事業廃止)。それに対し同年11月1日に出された知事意見を記すと

「この事業は現在稼働している一般廃棄物の焼却施設を更新しようとするものであることから、現況の環境を保全することはもちろん、さらに環境への影響の低減に配慮した施設計画とするとともに、計画値が市街地であることも踏まえ調査・予測・及び評価を行うようにしてください」と指摘した上で次の2点

### 1) 大気質にかかわる事項

(1) 施設稼働時のばい煙について、煙突の形状や周辺の高層建築物によってはダウンウォッシュを生じる可能性があるため、これらを考慮した予測評価を行うこと

(2) 施設稼働時のばい煙の拡散予測に当たっては、周辺に高層住宅等があることから、

これらへの影響を考慮すること。

### 2) 悪臭にかかわる事項

施設稼働時の悪臭(排ガス)の拡散予測に当たっては、周辺に高層住宅等があることから、

これらへの影響を考慮すること。

を指摘しています。

煙突高さを130mとしたこの計画案でさえ、以上のような厳しい、指摘を受けていることを重く受け止めて、現在地を評価すべきと考えます。

現在地は北側の業務地区の超高層ビルの他に300m圏内に住友アビック21、サンクタス千

葉ニュータウン、南側にはローレルスクエアの高層マンションなどがあります。

現時点では、これら建物へのガス拡散予測は未調査のために、どのような施設にすれば「問題になるような施設はつくらない」に該当するのかさえ不明確な状態です。従っ

て予測調査が行われた場合、周辺建物への影響回避のために多額の施設費の上乗せが必要となるリスクが多分にあります。この点も現在地の評価として考えるべきです。さもないと費用の住民負担を増やすし税金の無駄使いになる恐れがあるからです。

### 3. 他の 5 候補地の選択について

5 候補地については上記 1～2 のような特殊事情はなく、施設整備計画を実施しやすい候補地と考えます。このことも評価すべきです。 以

上

印西市木刈在住

津島孝彦